

# NPO 自立支援センター ふるさとの会

2007.08.20  
【第8号】



これはHTML形式  
のMAILです。  
オンラインで無い場合  
は画像が表示され  
ない可能性があります。

HOME PAGE

SCHEDULE

EVENTs

※ふるさとの会のメールマガジンをご愛読いただき、誠にありがとうございます。  
今後もふるさとの会の活動内容を定期的に情報発信させていただきたいと存じます。  
ご不要の場合はお手数ですがご返信くださいますようお願いいたします。

## INDEX

- ① 地域生活支援センター台東&すみだ合同旅行 草津温泉
- ② ビッグイシューシンポジウム参加報告
- ③ ふるさとホーム第2ユニット開設
- ④ ふるさとホテル三晃の墨田川花火大会観覧記
- ⑤ ホームレス支援ネットにいがたのT-シャツプロジェクト
- ⑥ ふるさとの会職員研修 連続講座
- ⑦ ふるさとの会シンポジウム2007のご案内
- ⑧ 今月のボランティア募集

## ① 地域生活支援センター台東&すみだ合同旅行 塩原温泉

8月4日～5日、地域生活支援事業部のイベントとして、台東リビングとセンターすみだの那須塩原温泉合同旅行に行ってきました。初の一泊旅行の試みでした。

台東リビングの利用者で高齢・疾病・障害などのため就労自活の展望がなく、簡易旅館・アパートで生活保護などを利用して生活する方、センターすみだの利用者で精神障害者グループホームに入居し、日中作業所や授産施設などに通う、利用者計14名、職員5名の合計19名が参加。利用者の中には車椅子の人、投薬管理が必要な人もおり、職員がサポートしました。

1日目は昼食後、ホテルでのんびり過ごし、夕方温泉に入りました。車椅子の利用者の入浴に際しては職員3人で介助し、温泉を堪能してもらうことができました。バイキングの夕食の後、カラオケを楽しみ、1日目が終わりました。

翌朝10:00頃ホテルを出発、ファミリー牧場に立ち寄り、馬や牛、鳥などの動物を眺めながら散策しました。そこで昼食のお弁当を済ませ、全員で記念撮影をして帰路につきました。

今回の一泊旅行は、リビングやすみだの生活保護を受給している人、障害や病気を抱えている人でも、生きがいのひとつとして年に一度くらいはこうしたレクリエーションを楽しむ機会をつくるという社会生活自立の援助が目的でした。

日頃、旅行に行く機会のない利用者の人達がコツコツと旅費を積立て、楽しみにしている年に一度の旅行、利用者同士、利用者と職員とのコミュニケーションを深める意味でもこのイベントは今後も毎年続けていきたいと思います。

(馬場英夫)



久々の温泉にうきうきの  
利用者さんと職員



牧場で動物ともふれあいました



総勢19名の大所帯

## ② ビッグイシューシンポジウム参加報告

7月25日、NEC本社で行われたビッグイシュー日本が主催した「東京ホームレス会議」に出席してきました。ご存知の通り『ビッグイシュー』とはホームレスの仕事をつくり自立を応援するために英国で始まった、ホームレスの人からしか買うことができない雑誌のこと。

会議は2部制となっていて、第1部ではビッグイシュー日本代表の佐野氏をコーディネーターに販売スタッフ3名の方の体験談が披露され、第2部では定例の販売ミーティングが行われました。ミーティングではスタッフから今後発売予定の記事内容について説明があり、その後お互いの販売促進のためのアイデアを話し合い、会場からの質問を受け付けていました。

その内容から出席者の多くは「支援者」というよりも学生や主婦、会社員が中心と想像され、色々な意味で新鮮に感じた一日でした。

(小野睦美)



ビッグイシュー日本代表佐野さん。懇親会会場にて

### ③ ふるさとホーム第2ユニット開設！

今回私は、今月1日にオープンしたばかりのグループホーム第2ユニットへ取材に行つて来ました！墨田区・東向島に位置するこのグループホームは、トイレ・シンクつきの個室が全部で6部屋、共同の風呂場・キッチン・リビングつきの、2階建ての一軒家です。もともと寮として使われていたこともあり、共同生活にはうってつけの物件です。

プライバシーが約束される完全個室型の入居体系を希望する方も多いそうです。しかし、共同スペースで一緒に過ごすことで入居者間の助け合いが生まれますし、万が一誰かが倒れてしまった場合にも、同居人がいると迅速な対応ができるなど、共同生活には多くの利点があります。

私が取材した際、第2ユニットの入居者はまだ安田さん1名でした。安田さんはもともと「ふるさとの会・就労支援ホームなすな」で生活していましたが、精神障害があるということで、昨年からはグループホームへの入居を希望していました。金銭・服薬管理など、日常生活全般においてほぼ自立している安田さんですが、いきなりアパート生活に移行するのは不安でした。その点、グループホームはいざという時に相談できる人がいる、緊急時に駆けつけてくれる職員がいる、という安心感があります。

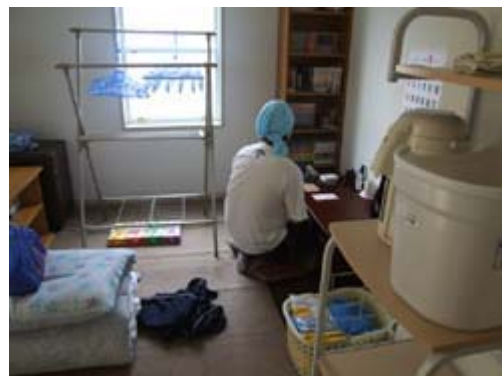
安田さんを始め、ふるさとの会のグループホーム入居者は、金銭・服薬管理の面で自立している方がほとんどです。その他の入居条件としては、精神科への通院を継続している方、日中活動の場(デイサービス・作業所など)のある方、将来アパートでの自立を目標にしているが、現状での単身または家族のもとでの生活が困難な方、などがあげられます。

グループホーム責任者の重見さんが、平成16年10月に4名の入居者とともにスタートした第1ユニットを拡大しようと決意した背景には、我が国で近年深刻化している社会的入院問題があります。退院はできるが帰来先がないという問題を抱えた人々からの入居希望の問い合わせを多く受け、なんとか彼らの力になれないかと、常に知り合いの不動産屋をあたり、グループホームに適切な物件の情報収集をしてきました。そんな地道な努力の結果めぐり遭ったこの物件。重見さんの素敵なセンスでアットホームな雰囲気が漂っていました。これから先、上に挙げたような社会的入院を余儀なくされている方々のための暖かい「ホーム」として存在していくことでしょう！

(岡野貴子)



共同スペースでの重見さん。入居者の皆さんにとって重見さんはお母さんのような存在です。



居室にて。真新しい部屋に並ぶ家財道具。ここからどんな生活が始まるのか楽しみです。

### ④ ふるさとホテル三晃の墨田川花火大会観覧記

今年もやってきました！毎年恒例になりつつある(?)ホテル三晃での隅田川花火大会鑑賞！花火は第一会場と第二会場とで22,000発も打ち上げられました。

日の出館の利用者様たちは2、3日前からウキウキわくわくしていました。

今年初めて行かれる方は「何が食べられるのかしら」、昨年も行かれた方は「今年もスイカを食べられるのか

しら」等と話しており、とにかく楽しそうな顔を浮かべながら皆さんで話をしていました。

さて7月28日、花火大会当日です！天気は良好！前日まで「行かない」と言っていた利用者様も周りの利用者様に「行こうよ」と誘われ、その楽しそうな雰囲気につられ、「行ってみようかな」とすっかりその気に。

会場であるホテル三晃まで歩いていける方々、各宿泊所から車で移動の方々、それぞれが準備を整え「さあ、行きましょう！」。

また、その準備に女性ならではの楽しみが満載でした。お化粧をしたり、髪の毛をアレンジしたり、中には浴衣を着ている方もいらっしゃいました。身支度を整えている間の表情は皆さん輝いていました。

ホテル三晃到着後は皆さん、食べたりお茶を飲んだりしながら花火を楽しんでいました。皆さん、人混みの中ではなく、座ってゆっくり観ることにご満足の様子。

「綺麗だね」等と話しながら優雅な時間を過ごされていました。

あつという間に終わりの時間を迎え、それぞれの館に帰館をしていきました。

ホテル三晃の利用者様の中には後片付けを手伝ってくださっている方もいました。椅子を私が片づけていると「女性にこんな重い物は持たせられないよ」等と言って下さる方もおり、男性ならではの力強い優しさを感じました。

ホテル三晃で行われた隅田川花火大会は前にはわくわく感、観ているときは感動、後には余韻に浸ったり、片付け等で一体感を感じたりできたり・・・何よりも利用者様達の笑顔をよく見ることでできる素敵な行事でした。

後日談ですが、日の出館ではホテル三晃で見かけた職員が来た際に「あ、三晃の職員さんだ、お礼言いたいね」と数日経った今でも当日の事を思い出し、更に話に花を咲かせていたこともありました。

(野中智恵)



ふるさとホテル三晃の屋上で  
ゆっくり観覧



恒例の焼きそば屋台！



立ち並ぶビル越しにながめる花火も  
おつなもの

### ⑤ ホームレス支援ネットにいがたのT-シャツプロジェクト

先週末、玉姫公園で開催された『ふるさとの会 山谷夏祭り2007』に参加された方は、スタッフの着用していたそろいのT-シャツにお気づきになったかもしれません。実はあのT-シャツには、ストーリーがあったのです。

今年3月、新潟で行われた『新潟市のホームレス生活実態・ニーズ・意識調査報告会』に参加した、ふるさとの会の水田理事長は、ホームレス支援ネットにいがたの主催する『ホームレスの人のパソコン教室』受講者が描いた絵をデザインしたT-シャツに、いたくほれ込んで帰ってきました。

「あれは事業にならんかいな？」

そこで、支援ネットにいがたの寺尾事務局長に本格的に事業にしてみても持ちかけたところ、「今後につながる」ということで、取り組んでみるとのこと。今回は、ボランティアサークルふるさとの会で、夏祭りのスタッフや協力者に配布したり、一部販売するとのことで、100枚を発注。絵柄、デザイン、品質などあれやこれや知恵を寄せ合い、ようやく完成したものがあのT-シャツです。

以下にT-シャツに込められたメッセージをご紹介します。

(ウラベリコ)

#### ホームレス支援ネットにいがた パソコン教室T-シャツ事業への思い

私たちは、ホームレスの人たちが社会の中でその誇りある一員としての立場を占めるようになってほしいと思っています。

パソコンの技術の習得はその手段です。このT-シャツは、「ふるさとの会」の協力を得て、私たちが初めて作ったもので、

さまざまな目標を持ったホームレスの人たちが、目標を達成する前に通過点を通った証です。

今回の事業では、デザインをしたホームレスの人にデザイン料を支払うことができました。

この先に、ホームレスの人がパソコンでデザインしたT-シャツを製造・販売する事業を検討しています。この事業によって、デザインをする人、プリントをする人、販売する人など、ホームレスの人たちの職を創り出すことができます。

このT-シャツを着る人は、その第一歩を共に踏み出してください。デザイン、着心地、扱い易さなどのご意見をぜひお寄せください。

〒951-8067新潟市中央区本町通十四番町3135-3  
 (特非)ホームレス支援ネットにいがた  
 事務局長 寺尾 知香子  
 電話&ファックス:025-225-1078  
 E-mail: sien-niigata@sirius.ocn.ne.jp



## ⑥ ふるさとの会シンポジウム2007のご案内

療養型病床群廃止とともに「社会的入院」患者の退院促進と地域生活移行が進められつつあります。このような社会状況のなかわたしたちふるさとの会は生活困窮者・単身で身寄りのない低所得者の居住・生活支援を続けてきました。

今年度のふるさとの会主催シンポジウムは、このような方々が、病院から退院した後に地域で安心した生活を実現してゆくにあたっての困難・課題を明らかにするとともに、安心して地域で暮らしてゆくための仕組みを提案し、より多くの方々が地域生活を送れるようになることを目的とします。

また、このシンポジウムを契機に、「社会的入院」の問題に関心を持つより広範な支援ネットワークを形成し、持続的な研究会を立ち上げて、政策提言へと繋げてゆきたいと思っております。

【開催日時】 2007年10月8日 13時開場 13:30開演 17:10終了予定

\* 終了後会場周辺で懇親会を予定しています

【場 所】 すみだ生涯学習センター「ユートリア」(墨田区東向島2-38-7)

【テーマ】 「ホームレス自立支援の新たな課題

～『社会的入院』問題から居住支援と地域ケアを考える～

基調講演 厚生労働省地域ケア・療養病床転換推進室室長 榎本健太郎氏

【主 催】 特定非営利活動法人 自立支援センターふるさとの会

【お申込】 FAXまたはEメールにてご連絡下さい。

【お問合せ】 台東区千束4-39-6 ふるさとの会

担当 佐久間・滝脇

電話 03-3876-8150 FAX 03-3876-7950

E-mail [hurusato@d5.dion.ne.jp](mailto:hurusato@d5.dion.ne.jp)

## ⑦ 今月のボランティア募集

例年がない猛暑が続いておりますが、皆さまいかがお過ごしですか？先週末の夏祭りにご参加いただきました方々には、大変お疲れ様でした。今年は初の試みとして、ボランティアさんにそろいのスタッフT-シャツを着ていただいたり、T-シャツ制作に携わった新潟の方々も祭りに参加いただくなど、新たな出会い、広がりを感じさせる祭りだったような気がします。来月は地域で行われる敬老会にふるさとの会として参加します。

さて、いよいよ秋のボランティアシーズンに突入し、9月16日には恒例の『敬老室の特別行事&昼食提供』を行いますので、引き続きボランティア参加を大募集いたします。

まだまだ暑い毎日ですが、熱中症にお気をつけて、お過ごし下さい。

ご寄付・ご参加のお願い

山谷夏祭りへのご協力ありがとうございました。ボランティアによる運営のため、財政支援、米や調味料のカンパなど、引き続き大募集しております。

また、T-シャツのご購入による財政支援もお気軽にお問合せ下さい。

ボランティアサークルふるさとの会 担当:秋山/馬場

TEL&FAX:03-3801-0881

E-MAIL:[volunteer-circle@lime.ocn.ne.jp](mailto:volunteer-circle@lime.ocn.ne.jp)

ご寄付振込み先: 郵便振替口座 00260-5-63218 ふるさとの会

発行元:特定非営利活動法人 自立支援センターふるさとの会

〒111-0031東京都台東区千束4-39-6

TEL:03-3876-8150 FAX:03-3876-7950

[hurusato@d5.dion.ne.jp](mailto:hurusato@d5.dion.ne.jp)

HP :<http://www.d5.dion.ne.jp/~hurusato/>